

企業関係者と弁理士の知財研究会

第10回（2020年度－1）・実施報告書

令和2年9月26日

保科敏夫・鈴木一徳

令和2年9月24日（木）に行われた、企業関係者と弁理士の知財研究会・第10回について、実施報告をいたします。

実施したクラス

当初の予定どおり、午後3時半～5時のクラスと午後5時半～7時のクラスの2クラスを実施した。内容は同じである。

参加人数

司会・進行の保科及び鈴木を除き、3時半クラス8名、5時半クラス4名。

参加者の内訳

① 3時半クラス

企業関係者6名（企業内弁理士3名、弁理士以外3名）、特許事務所2名
神奈川委員会委員4名、委員以外4名
会場受講3名、オンライン受講（Zoom）5名

② 5時半クラス

企業関係者2名（企業内弁理士2名、弁理士以外0名）、特許事務所2名
神奈川委員会委員1名、委員以外3名
会場受講2名、オンライン受講（Zoom）2名

テーマ

特許権の共有及び特許権の消尽

内容

特許権の共有、消尽の論文3本を取り上げ、共有出願と単独出願のメリット・デメリットや、部品譲渡に伴う完成品特許の消尽等についてディスカッションを行った。

担当者コメント

コロナ禍という状況を踏まえ、会場受講とオンライン受講の併用での開催となった。

オンライン受講可能ということで、数百キロ離れた遠隔地からご参加いただいた方も複数名いらっしゃった。

3時半クラスでは操作ミスで冒頭の3分ほど、オンラインに音声流れなかった。5時半クラスでは、途中でインターネットの接続不良によりZoomの3分ほど接続が切れてしまった。いずれのトラブルも、短時間で復旧した。

オンラインの画像及び音声は高品質とは言えないものの、実用には耐えるレベルのものであった。

今後の予定

第11回（2020年度－2）令和2年11月26日（木） テーマは、知的財産権を対象とした公正取引委員会の報告書を、企業関係者・弁理士・弁護士がそれぞれの視点で読む

第12回（2020年度－3）令和3年1月28日（木） テーマは、機能的クレーム

第13回（2020年度－4）令和3年3月18日（木）*第3木曜日 テーマは未定 以上